

IPA 製窓金物をお使いの際の注意点及びお手入れ方法のご案内

IPA 製窓金物をより永く安全にご使用いただくために、ご注意していただきたいことをご案内しています。お読みいただき、定期的な点検や状況に応じたメンテナンスをお願いいたします。

《IPA 製窓金物の保守点検整備について》

IPA 製窓金物をご使用の際は、必ず定期的な点検及び整備をお願いいたします。

使用頻度やその金物が設置されている環境によって点検整備の頻度は異なります。金属の腐食（錆）は、腐食成分を含む水分や大気汚染などによる特別の原因も考えられますが、その他都会・工業地域・交通量の激しい地域・海浜地帯などは特に注意が必要です。これらの地域で使用される金物は一般環境での場合よりも点検と注油の頻度を増やしてください。

ヒンジ及び金具の作動点検と注油を少なくとも年 2 回、もしくは使用頻度や設置する環境によっては必要に応じてそれ以上の回数の実施をお願い致します。

スライド部品並びにすべてのアルミ製レールのスライド面は塵や汚れが付かないよう常にきれいな状態で、円滑なスライド機能を維持してください。布やスポンジで拭う際、中性洗剤は良いですが、アルカリ成分や酸性成分を含む洗剤や研磨剤は絶対使用しないでください。また、アルミ製レールのスライド面には油性分・グリスなどの潤滑剤は塗布しないでください。

フックギア、ローラーピンギアおよびその他の締り点金具にはグリスや潤滑剤による注油が必要です。この場合、酸性成分を含まないグリスやスプレーオイルをご使用ください。軸受けケースや摺動するフック、ローラーピンなどの根本に注油します。これは少なくとも年 2 回、もしくは必要に応じてそれ以上の回数の実施をお願い致します。

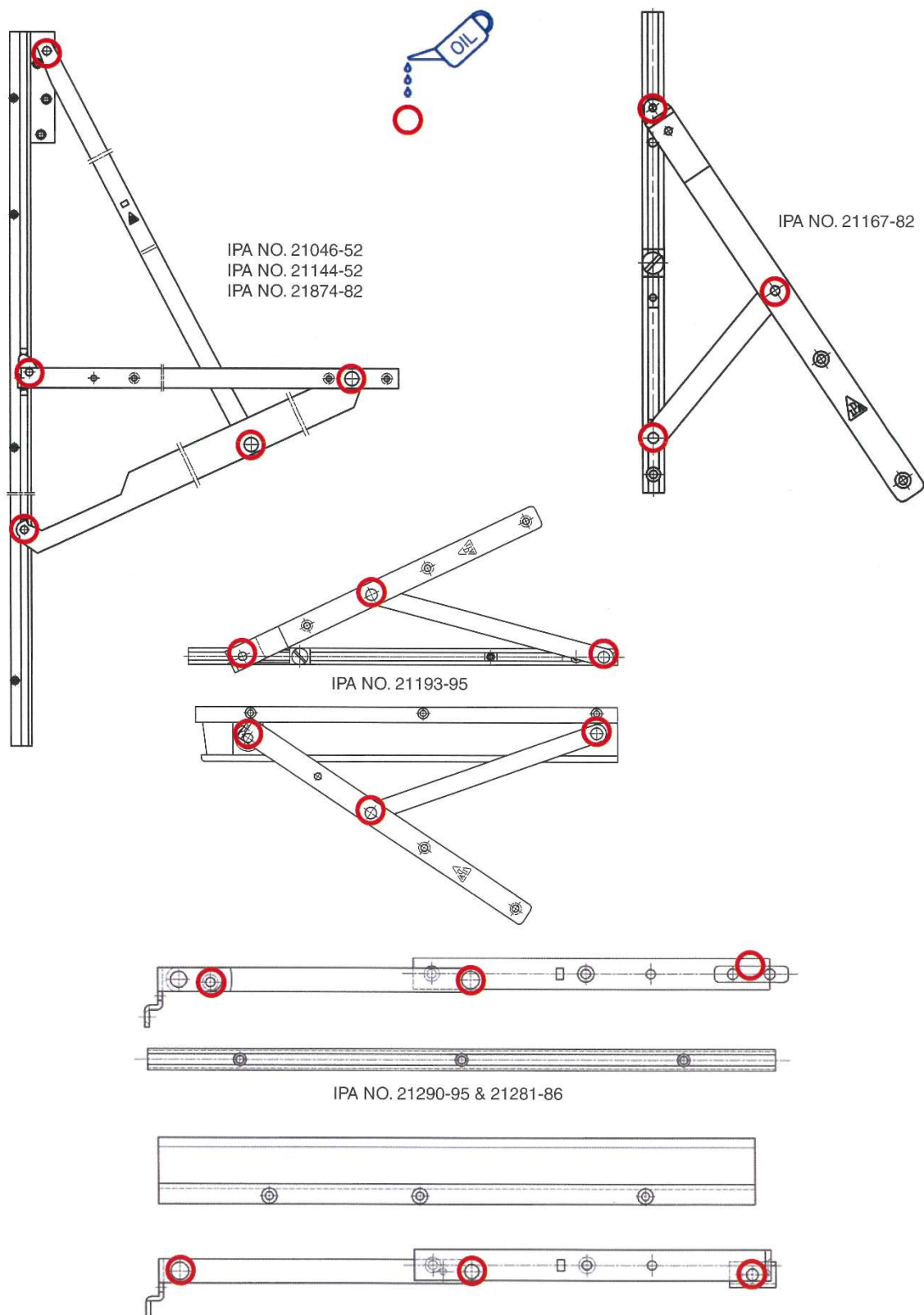
真鍮素材は、設置される環境にもよりますが、時間の経過とともに表面色が黒ずんできます。表面に出る部分は時折り磨いて頂く事で元の真鍮色を維持することができます。

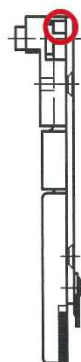
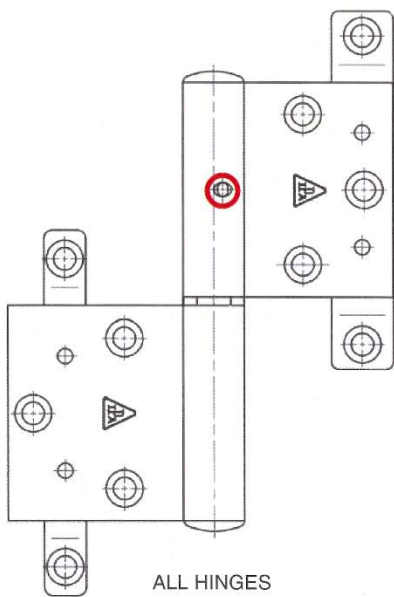
ステンレス素材は、稀ですが表面が変色することがあります。これは酸性成分や大気汚染物質などの化学成分や木部保護剤などの汚れにより錆のように赤みがかかった色になることがあります。この場合はクリーナーで拭うか磨いて頂ければ落とすことができます。

建具の工場出荷前には全ての金物に注油を行ってください。一度吊外ししなくてはならないかもしれませんが、ヒンジは必ず酸性成分を含まないグリスか潤滑剤をピンの部分に塗布してください。特に真鍮ピンのヒンジにはグリスを付けてください。

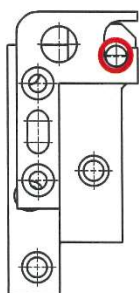
また、金物取付時には工具で金物表面を傷つけないようにご注意ください。

注油ポイントは以下の図（赤○）を参照願います。

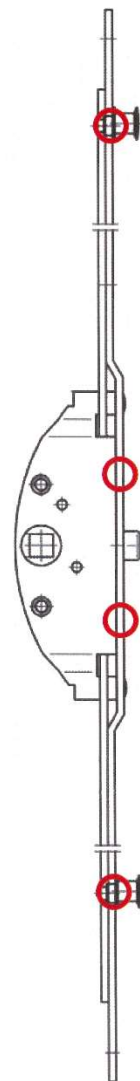
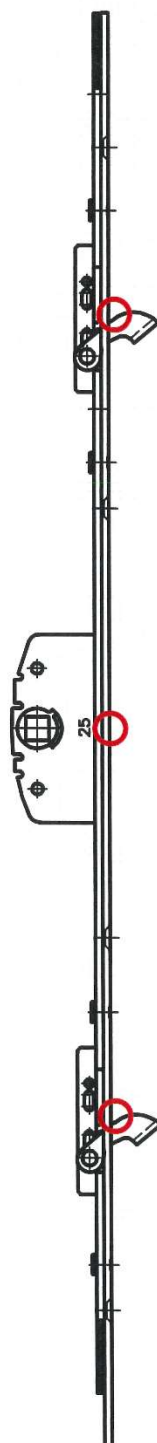




IPA NO. 23782-90



IPA NO. 21125-28



ALL ESPAGNOLETTES